

一月十二日 日曜日 演技だったらかわいそう

昨日 六時すぎから寝たが、今日起きたら、昼の十二時前であった。別に、起きる事がなかったが、腹が減ったので、仕方なく起きたわけだ。

もち、六つ食べた。
京太と幹夫が、お母ちゃんに、お好み焼きを作ってもらっていたので、僕も 作ってもらい、それも食べた。

おながが膨れて、しばらく、ぼんやり、テレビを見て、部屋にもどり、英文解釈をして、また、下の居間へ降りた。

三時半ごろまで、テレビの歌を聞き、その中で、歌っている歌手に、北原謙二がいた。

鼻にかけて歌う。
「なんだこの歌は！」と思ったが、なんとなく、「これも演技かな？」
「演技だったら かわいそう。」と思った。
「しかし、それで この人は楽しんでるだなあ」と思いながら 聞いていた。

君には君の夢がある。
僕には僕の夢がある。